

## 天文語一行辭典

- 有田邦雄 長崎報時觀測所長。(1870- )
- アルバート Albert 第719番の小遊星。離心率0.54, 近日距離1.18 1911年發見
- アルバニ天文臺 Albany 米國 N. Y.州。カネギ財團經營。子午線天文學を研究す。
- アルファ Alpha ギリシャ文字の第一號。星座中の明るい星の符號。又、赤經の符號
- アルフェラト Alpherat アンドロメダ座ア星。之はアラビヤ語
- アルフォンゾ第十世 Alfonso(在位1252-82)スペイン國カステラの明君。遊星表を作らしむ。
- アルフォンゾ表 Alfonsine Table アルフォンゾ第十世の命にて作られた遊星表
- アルブレヒト Th. Albrecht 獨國天文家。緯度變化の研究をした(1843-1915)
- アルプス Alps 月面イムブロス海西岸の大山脈、中に大溪谷あり。
- アルブレクト S. Albrecht 米國アルバニ天文臺員、恒星運動の研究家。(1876- )
- アルプス谷 Alps Valley 月面のアルプス山脈中にあり。
- アルベイド Albedo 物體の表面が光をはね返す能力、反射能力。
- アルマゲスト Almagest 第二世紀にトレミーが著した天文書。天動説の大權威書。
- アルマナク Almanac 天文曆
- アルマムン Almamun アラビヤの天文家。ダマスコとバグダドで觀測(814)
- アルミニウム Aluminium 第13番の化學元素、原子量26.97 天體ルベクトル中にあり。
- アルレニウス S. Arrhenius 瑞典の物理學者、天文宇宙に關する著書多し。(1859-1927)
- アレキパ天文臺 Arequipa 南米ペルー國に置かれたハワード天文臺出張所(1926年廢)
- アレガニ天文臺 Allegheny 米國ピッツバーグ大學天文臺。76層屈折機あり。
- アレクス Ares ギリシャの神、ロマの Mars に相當。火星の擬人化。
- アレキサンドリヤ Alexandria エジプト北岸の學都、西曆紀元前後に盛んであつた。
- アレオグラフィ Areography 火星表面觀察の學。
- 暗黒星霧 發光せず、不透明、寒冷のカス星霧。銀河中に多く發見さる。
- アンテルム Anthele 佛國宗教師、1870年夏、孤座に新星を發見す。
- アンドソン J. A. Anderson 米國キルソン山天文臺研究室にゐる物理學者(1876-)
- アンドソン T. D. Anderson 英國天文家。1892年と1901年の新星を發見す。
- アンタレス Antares 蝸座の首星。支那名「大火」、M型、117光年。夏日暮南中。
- アンチニウス Antinous 鷲星座の一部。
- アンチモニ Antimony 第51號化學元素。Sb. 原子量121.76 天體スペクトルに無し。
- アントニアデ E. M. Antonniadi 佛國ムドン天文臺員。遊星表面學の大家。(1880- )
- アンドレ André 佛國パリの天文家。
- アンドロメダ Andromeda トレミー星座の一、秋の夕暮れ天頂に見ゆ。
- アンドロメダ星霧 同星座α星の西北隣に肉眼にも見ゆ、視直径 $3^{\circ}$ 、距離95萬光年。
- アンドロメダ流星群 毎年11月20日頃、同座が星から飛ぶ。ペリヲ彗星の遺物である。
- アンドワイエ M. H. Andoyer 佛國パリの天文家。佛國天體曆を編輯す(1862-1929)
- 案内星 星の日週運動を追跡しつゝ望遠鏡を動かすこと。ガイドすること。
- 案内星 星をガイド(案内)する時に目標とする星。
- 案内望遠鏡 主要望遠鏡を案内するために用ゐる小型の望遠鏡。
- 案内接眼鏡 望遠鏡を案内するためにのみ用ゐる接眼鏡。大型の望遠鏡にのみ用ふ。
- 案内装置 望遠鏡を案内するための装置。案内の望遠鏡や接眼部又はハンドル等。
- アンブラ Umbra 日食や月食の本影。
- アンブラ Umbra 太陽黒點の中央部、最も光暗き部。
- アンブロン L. Ambronn 獨國ゲチンゲン大學教授。(肉眼星目錄を作る)

暗	部	日月食のアンブラに同じ。
アンモニウム		Ammonium 窒素と水素との化合物。太陽中にあり
イ		ギリシャ文字イ(イオタ)の略
イ	丨	Easter 基督復活祭日(春分の後の満月の次ぎの日曜)
イ	丨	Eastman 米國寫眞器製作會社長、米國の改曆委員長。
イ	丨	ギリシャ文字イ(エータ)を見よ。
胃		支那二十八宿の第17宿。羊座の東部第35, 39, 41星附近。
E	型	ハワード天文臺フレミング夫人が發表せる恒星の分光型今は廢止
亥		支那十二支の最終。
イ		Io 木星の第一衛星。1610年一月ガリレオ發見。公轉5.日9,
イ	オ	Tota ギリシャ文字の第九字(ι)
イ	オ	Ion 電氣を帯びた微粒子、物理學や化學上の用語。
イ	オ	イオンとなること。
イ	カル	Icarus ギリシャ神話で、父デダロスと共に飛行して海に落つ。
池	田	天文同好會名譽會員。又、植物學者(1905- )
十	六	舊曆の毎月第十六夜。
石	井	東京麻布天文臺技師(大14東大卒)
イ	シ	Isis エジプト古代の月の神。又、理學雜誌の名。
イ	シ	Istar [アシタロデを見よ]
椅子	星	カシオペア座の別名。
伊	勢	京都の土御門家の許しを受け伊勢大神宮前で發行した曆。
位	相	遊星表面の日光で照されてゐる部を地球から眺めた形。
イ	ソ	Isotope 各化學元素の變種。
位	置	天體の空間位置又は天球位置などの意。
位	置	天體の天球位置のみを研究する天文學。
一		一年中の最初の月。
一		支那の僧、天文家。大衍曆を作る。(683-727)
一	時	Temporary star 新星[その條を見よ]
一	年	四季交代の週期、太陽の一週轉、又は十二ヶ月。
一	日	太陽の日週運動の長さ。又は地球一自轉の長さ。
一	時	一日の24分の一。
一	度	角度の單位、直角の九十分の一。支那古代では圓周の365日 $\frac{1}{2}$ 。
一	分	角度一度の60分の一、又は一時間の60分の一。
一	秒	一分の60分の一。
一	戸	明治36年東大卒、天文家理學博士(1878-1920)
一	番	日没と共に最初に見える星。
一	角	冬の天空に見える星座。三等星以下。
一	角	1918年に現はれ、ワルフ氏發見。5等級に達す。
一	貫	鐵砲鍛冶國友能當の號。[國友能當を見よ]
一	等	最も明るい恒星。全天に約20個。
イ	タ	Ytterbium 第70番化學元素。Yb。原子量173.5 太陽中にあり。
イ	デ	プラトン哲學で最も理想的な觀念。天體はイデヤと思はれた。
射	手	夏の夕暮れ南天に見ゆるトレミ1星座。銀河中心を含む。
射	手	1898年以來既に十數個發見された。皆微光。